

# 4月から努力義務に

# 自転車乗るならヘルメット！

道路交通法の改正により、4月1日から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務になります。大人も子どもも、自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう。

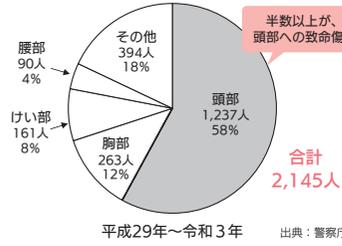
## 努力義務の対象が拡大

自転車乗車時のヘルメット着用は、平成20年の改正道路交通法以降、13歳未満の児童や幼児が乗るときにかぶらせることを保護者への努力義務としてきました。また、府の条例も、自転車に未就学児を同乗させるときの着用を義務付けています。昨年4月に成立した新

## 非着用時の致死率2倍

令和3年までの5年間、自転車乗車中の交通事故死者の約6割が、頭部に致命傷を負っています。ヘルメット非着用時の致死率（死傷者に占める死者の割合）は、ヘルメット着用時の約2.2倍。死に至らなかった場合でも▽言語▽視力▽聴力▽記憶―などに障害が現れる可能性が高くなります。交通事故による被害の軽減を図るためには、頭部を保護することが重要です。万が一に備え、自分や家族の身を守るために、自転車に乗るときはヘルメットをかぶることを習慣付けましょう。

## 自転車乗用中の交通事故死者の主な致命傷の部位



## 令和5年度国保料

# 11年連続据え置きに

市は2月8日、令和5年度の国民健康保険（以下、国保）の運営について、市国民健康保険運営協議会（四方面道人会長）から答申を受けました。1人当たりの国保料は据え置きで、関連予算案を市議会3月定例会に提出しています。

## 急激な物価高騰など社会情勢に配慮

国保とは、安心して医療を受けられるよう、加入者が保険料を出し合って負担を軽減する制度です。近年は加入者が減り、保険料などの収入は減少。運営状況は、さらに厳しくなる見通しです。しかし、このような中、急激な物価高騰など社会情勢を踏まえ、加入者の負担増を考慮。国保準備基金（貯金）



四方会長＝写真左＝から答申を受ける山崎善也市長

約1億円を活用し、保険料を11年連続の据え置きとしました。令和5年度の1人当たりの国保料の平均年額は、医療給付費や後期高齢者支援金分、介護納付金分を含め、7万6638円（昨年と同額）です。

## 基金減少し厳しい財政運営続く

国保準備基金の残高は、本年度末の見込み額約2億3000万円に対し、令和5年度末は約1億3000万円と推計。基金は減少する一方、高齢化や医療技術の高度化により医療費などの出費は膨らんでいます。また、「団塊の世代」が後期高齢者医療制度へ移行することに伴い、国保における負担金の増加も予想されます。

市は今後、こうした状況を踏まえ、適切な準備基金の確保を念頭に、持続可能な事業運営に努めます。



SGマークのあるヘルメットは、製品安全協会が定めた安全性認定基準を満たし、高い安全性が保証されています。

## 通学時にもヘルメットの着用を

自転車事故は、通勤や通学、帰宅時間帯に多く起きています。綾部市では、令和2年11月に自転車で通学していた中学生が車と衝突し、頭部を損傷する事故が発生しました。見た目や髪型が崩れるなど、着用に抵抗がある人も多いと思いますが、いざというとき大切な命を守るために、ヘルメットの積極的な着用をお願いします。



綾部警察署交通課 係長 山科真琴さん

## 「ながら運転」は交通違反！

イヤホンで音楽を聴きながら▽スマートフォンを操作しながら▽傘を差しながらの運転は車や歩行者の接近に気づきにくく、大きな事故につながる危険な行為です。自転車に乗るときは交通ルールを守り、安全に利用しましょう。



## 高齢者の仲間入り

先月、65歳になった。相前後して介護保険や年金関係の通知などが届き、改めて節目の年を迎えたことを再認識。今まで幸いなことに心身ともにさほど衰えを実感することもなかったが、それ故に今回の誕生日は例年になく感慨深く、同時に己の老後を改めて考えてみる機会にもなった。

その時々を同じ世代の仲間として切磋琢磨し、辛酸を共にした同士と言える。しかしながら還暦を過ぎた頃から、悠々自適の生活を選ぶ者もあれば、大企業のトップなど実社会の最前線で活躍する同輩も少なからずいるなど、まさに「人生いろいろ」である。中にはすでに鬼籍に入った同級生、闘病生活を余儀なくされている知己もいる。アメリカの詩人サミュエル・ウルマンの残した有名な「青春」の一節が身に沁みる。「青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の持ち方を言う。すなわち人生の深い泉の清新さを言うのである。：時には20歳の青年よりも60歳、80歳の人に青春がある。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いる。」

私には同年代の知り合いで大きく分けて4つのグループがある。18歳まで過ごした綾部の幼馴染。大学時代の柔道部やゼミナールの仲間。前職である銀行員時代の同期生や仕事を通じて付き合い合った人たち。そして現職に就いてから交流を深めた政治や行政関係の知り合いである。それぞれ分野は異なり、また付き合いに濃淡はあれ、

身体能力が人生の黄昏に入ったことは紛れもない事実。すべての赤やんは泣き声を発して生まれてくるが、これは心肺機能を母親の胎内から胎外のシステムに変更するため必要な行為とも。もうそんな必要もない我々高齢者は、穏やかな笑顔を絶やすことなく「老後」を生きたいものだ。

山崎善也（綾部市長）

## ゼロカーボンシティ目指す取り組みを表彰

市役所で2月16日、脱炭素社会に向けた優れた取り組みや活動などを行う個人・団体を表彰する「あやべゼロカーボン表彰」の表彰式を開催。最優秀賞を受賞した館町の大力浩二さんと聡美さん、青野町のグンゼ綾部本社に黒谷和紙の賞状と綾部市産材木製盾を授与しました。

市は本年度、脱炭素への気運を高めるため、同表彰を創設。取り組み内容など詳しくは、市ホームページで公開しています。(記事ID2875)



## デジタル技術を学んで体験!

市と府などは2月18日、青野町の北部産業創造センターで「サイエンスキャンプinあやべ」を開催。市内外から参加した小学5・6年生と中学生の14人が、ロボットに関する話を聞いたり、プログラミングを体験したりするなどして、デジタル技術の面白さを学びました。



豊里小学校6年生の丸岡晃太郎くんは、府立工業高等学校の生徒に教わりながらオリジナルLEDライトを製作。「作るのは難しかったけど、楽しかった。ものづくりの技術をもっと知りたいと思った」と笑顔でした。



## 綾部の茶 府で最高位に輝く

宇治市で2月10日、昨年7月に同市で開催された第40回京都府茶品評会出品茶審査会の審査結果を受け、褒賞授与式が行われました。本市からは、綾部緑茶生産組合の福井ヒデ子さんが、かぶせ茶の部門で農林水産大臣賞を受賞。また、審査成績の最優秀の市町村に知事から贈られる優勝旗が綾部市に授与されました。本年度授与された優勝旗は、全国茶品評会の産地賞＝本紙12月号参照＝と合わせ2本目となります。



## 30歳40歳がふるさとで同窓会

市I・Tビル(西町一丁目)で3月4日、あやべ3040成人式が初開催されました。同実行委員会(上畑隆昭委員長)が将来のUIターンや定住を考える場として企画。今年度に30歳と40歳を迎える本市出身者など51人が参加しました。式典では30歳を代表し西藤拓未さん、40歳を代表し大槻めぐみさんが近況やふるさとへの思いをスピーチ。また、あやべ地域交流大使シャンプーハットをつじさんをお迎え、本市の魅力などについて対談し、会場は大いに盛り上がりました。



**大賞** 綾部市長賞  
大きなシャボン玉できたよ 白木文枝(福知山市)

### 特選



綾部商工会議所賞  
秋の清流 松岡秀雄(興鶴市)



綾部市文化協会賞  
由良川冬景色 野々垣泰輝(並松町)



あやべ市民新聞社賞  
光跡 菟理忠則(福知山市)



京都府観光連盟賞  
あやべ 安谷屋茜(大阪府)



京都新聞賞  
夢のトンネル 朝子政司(野田町)

# 令和4年度 あやべ観光デジタル フォトコンクール 入賞作品決定

### 市内外から262点集まる

市観光協会(平野正明会長)は、デジタルフォトコンクールを開催。本市の観光を積極的に推進するため、「輝くあやべ・再発見」をテーマに観光写真を募集し、このほど入賞者を発表しました。大賞は、天文館パオ(里町)で撮影した、白木文枝さん(福知山市)の作品です。

本市の豊かな自然や文化などの魅力を発信することを目的に開催する同コンクール。応募作品262点から大賞1点、特選5点、入選10点が選ばれました。大賞、特選以外の入選者は次の皆さんです(順不同、敬称略)。  
朝子政司(野田町)▽阿比留健次(西町三丁目)▽安村篤(青野町)▽山口健治(同)▽足立麻美(福知山市)▽木崎誠(同)▽植田空羽(舞鶴市)▽近藤克啓(京都市)▽福井齋(滋賀県)▽鳴倉英幸(東京都)  
入選作品は3月17日(金)から4月7日(金)まで、あやべ観光案内所(駅前通り)で展示。以降、天文館(里町)、あやべ温泉(陸寄町)など市内各所で約1カ月ごとに巡回展示します。

# 教えて! 新型コロナウイルス対策



新型コロナウイルス対策のマスク着用に関する情報をお知らせします。

## マスクの着用は個人の判断に

マスクの着用ルールが3月13日(学校現場は4月1日)から緩和され、屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねられることになりました。ただし、自分を感染から守り、周囲に感染を広げないため▽医療機関を受診するとき▽高齢者など重症化リスクの高い人が多く入

院・生活する医療機関や高齢者施設などを訪問するとき▽通勤ラッシュ時などの混雑した電車やバス(概ね全員の着席が可能であるときを除く)に乗車するときなどの場面にに応じて着用をお願いします。マスクの着用は個人の判断が基本です。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないようにお願いします。(記事ID2500)

## 基本的な感染対策はメリハリを

<体調が悪い場合など>

体調が悪い人や新型コロナウイルス感染症の検査で陽性となった人、同居する家族に陽性となった人がいる人は、周囲に感染を広げないために外出を控えてください。通院などでやむをえず外出するときは、人混みを避け、マスクの着用をお願いします。

※子どもに対するマスク着用は、健全な教育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。感染が拡大している場合は、一時的に場面に応じたマスク着用を呼びかける可能性があります。保護者や周りの大人が子どもの体調に注意し配慮をお願いします。

## わがまち

# 自慢

このコーナーでは、本市へのU・ターン者等の視点から、市内12地区を順番に紹介します。

## 中筋地区



吉川 聖崇さん (上延町)

### 子育てがしやすい環境

大阪府の南部から平成25年に移住し、市内の企業に就職しました。綾部市の緑に囲まれた風景が、ふるさとに似ていて住心地の良さを覚えました。都心部や趣味の海釣りに行くにも快適でアクセスも便利。中筋地区は病院や学校、買い物ができるところがそろっていて、子育てしやすいまちです。

### 人が集い、にぎわいあるまち

自治会対抗の運動会や山添神社で行われる納涼祭、秋祭りなど季節の行事に参加し、世代を超えた交流を楽しんでいます。「綾部あ



「消防団の詰所と、その正面にある子どもとよく遊ぶ鳥ヶ坪町児童遊園地。暮らしに密着した場所が私のお気に入りです」と吉川さん

じさい風鈴祭り」のシーズンには、観光客に東光院までの道のりを聞かれたり、他府県ナンバーの車を見かけたりすることが多くなりました。人が集う場所や機会が多いことを魅力に感じます。

### 人とのつながりで人生が充実

移住して翌年に消防団に入団。活動を通して、地元住民とのつながりが生まれました。昨年4月には、初めて上延第二公園内に鯉のぼりを掲揚。中には、他の地区から寄付を受けた鯉のぼりもあります。こうした人との関わりで、人生が豊かになっていくと実感。これからも、さまざまなことに取り組み、コミュニケーションを広げたいです。

## シリーズ 人権を考える ⑪ 性の多様性と人権

### 多様な性の在り方を理解し認め合う

人それぞれに個性や特徴があるように、性の在り方も「身体の性」だけでなく▽性自認(心の性)▽性的指向(好きになる性)▽表現する性(言葉遣いや服装等)——などの要素があります。これらの表現方法は人によってさまざま、組み合わせて決まりはありません。一人ひとりの違いは個性であり、認め合い尊重することが大切です。

### LGBTQ+は身近に

性自認が出生時に割り当てられた性と異なる人や、性的指向が異性愛だけではない人は「LGBTQ+」=「本紙12月号参照II」と表現されることがあり「性的少数者(マイノリティ)」ともいわれます。LGBTQ+は、見た目では分かりにくいことも多く、身近に「いない」「会ったことがない」と思いがちですが、私たちが気付いていないことがほとんどです。

### 誰もが自分らしく生きられる社会へ

LGBTQ+の人が安心して暮らせる環境にするために、多様な性への理解を深め、自分の周りの当事者がいるかもしれないと思っただけの言葉を心掛けましょう。また、カミングアウトや相談を受けた場合は、真摯に受け止めてください。本人の了解なしに他人に話すアウトティングは、重大な人権侵害です。LGBTQ+への理解者である「アライ(ally)」の輪を広げ、誰もがありのままの自分で生きられる社会を目指しましょう。



このコーナーでは、シリーズで人権に関する情報をお知らせします。

## 図書館ほんでほんで通信mini

「おひめさまになりたい!」「飼っているカマキリを戦いに強くしたいです」など、子どもの可愛い質問・疑問・難問から始まった、全国各地の図書館司書が回答する奮闘記59話。



図書館にまいこんだ  
こどもの大質問  
編者II こどもの大質問編集部  
出版社II 青春出版社

### おすすめポイント

市図書館にも日々、こんなピュアな質問が寄せられています。ピュアな気持ちや新鮮な疑問でいっぱいの子どもの大質問」を読んでみませんか?

## 今月の手話



### 春



両手の手のひらを上に向け、お腹のあたりから上へ2回あおぐ(暖かい風が下から吹いてくる様子)

### 桜



両手の手のひらをたたき合わせ回転させる(桜の花の咲く様子)

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部